

# コロナ禍でのボランティア受入れ

お互いの安心のため、ボランティアを受け入れるみなさんにご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症により、従来どおりのボランティア活動が制限される中、神戸市各区ボランティアセンターでは、引き続きボランティア活動の推進に取り組み、ボランティアの受入れに際して大切にしてほしい習慣や考え方、具体的な対策をまとめました。

『コロナ禍でもボランティア紹介を依頼していいのだろうか』といった不安に対し、いつでも相談できるように、みなさんと一緒に新しい活動のカたちづくりに取り組みます。

## 1 ボランティア受入前

### 受入する活動場所は3密(密閉、密集、密接)でないか

過去に感染者が出たことなど、気兼ねせずにお話しいただければと思います。



### 消毒材を用意する

手指消毒用エタノール、エタノール成分含有のウェットティッシュ、次亜塩素酸水など。



### 活動に関わる方の体調記録をつける

体調管理票を活用し毎日の習慣にしましょう。活動前後2週間が特に大切です。



### マスクを用意する

活動対象者や、万一ボランティアがマスクを忘れたときに配布できる使い捨てのものを用意しましょう。



## 2 ボランティア受入当日

### 活動に関わる方の検温、体調を聴き取る

受け入れたボランティアへ、対象者の体調に問題がないことを伝えると安心されます。



## 3 ボランティア活動中

### 人との距離をとり、3密(密閉、密集、密接)を避けるよう促す

### ボランティア・活動対象者に必ずマスク着用を促す

フェイスガード、マウスガードのみでは効果が低いとされています。



### こまめに換気する

30分に1回程度、窓や扉を開放しましょう。



### 飲食を伴う活動の実施は避ける

食事をしながらの会話は飛沫感染リスクが高まります。ただし、水分補給はこまめに行いましょう。

## 4 ボランティア受入後

### 使用した備品、人が触れた箇所を消毒する



### ボランティアと接した方の感染が判明した場合は必ずボランティアセンターへ連絡する



さらに詳しくホームページで説明しています！

神戸市各区ボランティアセンター